



| | |
|--------------|---|
| Title | 詞林 第41号 表紙/目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 詞林. 2007, 41 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/67561 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

林 詞

SHIRIN VOL.41 (2007 年 4 月)

第四十一号

宇治十帖〈解体〉と〈閉塞〉の論理(上) 中井 賢一 (1)

僧侶の神仙術としての避穀
——『本朝神仙伝』を中心に—— 李 育 娟 (20)

『徒然草』第九十七段における「莊子」再考 陳 秉 珊 (37)

『観音冥応集』と宝泉寺縁起
——蓮体の備中における書写活動をめぐって—— 中川 真弓 (51)

『観音冥応集』出典考
——卷第三八話を例として—— 山崎 淳 (66)

第三十九号目次（二〇〇六年四月）

曲水宴考証……………滝川 幸司

菅原道真の白色好尚と日本の美意識……………高 兵 兵

—白い花を詠む詩を通して—

薫の人物造型……………白 雨 田

—身から放つ芳香の機能—

『とはずがたり』における女性の装束描写……………高 嶋 藍

—東二条院の書状による影響—

『持戒清浄印明』考……………中山 一 磨

第四十号目次（二〇〇六年十月）

「宮仕へ」する昔男……………木下 美佳

—『伊勢物語』における機能—

「と」の気脈……………加藤 昌嘉

—平安和文における、発話／地／心内の境—

『定家卿百番自歌合』三次本への改訂……………細川知佐子

—四季の恋—

頼意僧正伝記考……………勢田 道生

—南朝参仕の一僧侶歌人の生涯—

信多純一氏蔵文政五年書写六段本……………箕浦 尚美

—『天狗之内裏』解題・翻刻—